

中日対照言語学概論

— その発想と表現 —

中日両言語の違いを知り、互いを理解するための一助となる言語学概論。言葉に固心のあるすべての人に贈りたい一冊。



大東文化大学名誉教授 高橋 守彦 著
日本語学社
ISBN 978-4-86185-240-4

推薦の言葉

高橋守彦教授は、約 20 年あまり前から中日対照言語学の研究と学生指導に携わっている。本書は中日両言語の特徴ばかりでなく、両者の文化やものの考え方もよくとらえている。高橋教授の積み重ねた研究の対照とすることで、日本語についてのもっと深い理解・跨文化の両方から見た視点を得た研究が生まれる。日本人の対照研究にありながら、日本語についての理解が深まると、半信半疑でまていないという反応から完全に変わっている点である。

本書はこれまでの中日対照研究の世界に一石を投じるものであり、今後の両国における言語文化研究の道を導き開く手助けとなることは疑いない。そのような意味で、本書が関係者各分野で広く読まれることを期待してやまない。

鈴木 泰 (大阪大学名誉教授、日本語学専攻教授、日本語学専攻助教授)

本書は、概論を皮切りに、構文・語法・単語レベルにおける中日両言語の異同を分析し、世界の言語における両言語の位置、両者の異同、その文化的特徴および中国人と日本人のものの考え方をよく捉えている。これらの研究成果には、これまで蓄積されてきた膨大な足跡が数多くあり、両国の発展を考えると一読に値する。

20 世紀 90 年代、高橋守彦教授が創刊しておられた専攻第一先生が中国と日本で中日対照研究の研究会を創られてから、高橋教授は良き良き中日両言語の対照研究に力を注いでこられた。言語の対照研究は、言葉そのものだけでなく、その理解に携わっているものの考え方の差がなければ、言葉の本質は分からない。その意味で、本書を多くの古きにお薦めする。

三義 (国文学研究館、日中言語学専攻助教授)

私たちも推薦します

榎本英博、藤原樹、山下輝彦、劉勳華、渡邊祐夫、渡塚隆、夢崎、凱敏、于曉飛、文光雄、王麗英、劉心苗、大島吉郎、丁錦、永倉百合子、何賢輝、王奎新、王学敏、呉川、田中寛、須田義治、時國直、劉志偉、安本真弓 (敬称略、順不同)

ご注文は、日本語学社 e-shop (中国語販売用) / オンラインでもご利用いただけます。またはこのチラシを郵送にてお送りください。(トータル印刷 400部 販売コード: 0762)

 日本語学社 e-shop <http://duan.jp>
通信 FAX **03-5956-2809**

ご注文 / 書籍印

ご注文の際は、注文書、住所、氏名、電話番号をご記入ください。

0114 日本語学社 〒175-8585 東京都豊島区長崎 3-17-15 Tel: 03-2956-2808 Fax: 03-2956-2809 info@duan.jp <http://jp.duan.jp>
●二重印刷して 1 冊付 送料別 (送料: 5271402) ●送料別 (送料: 1403-300000) ●送料別 (送料: 1403-300000) ●送料別 (送料: 1403-300000)

03-3980-3131

info@duan.jp

03-3971-0834

